

コスモス 11月号

第68巻 第11号

◆宮柁ニカレンダ―(20)十一月の歌

こゑあげて哭けば汾河の河音の全く絶えたる
しもよ かざおと
霜夜風音
歌集『山西省』

昭和十七年十一月二日に、北原白秋が逝去。柁二はその報を六日に山西省東寨鎮で受けた。衝撃は大きく、『山西省』の「統後記」によれば、数日間「軍務を放擲」したほどだったという。寒風吹きすさぶ汾河のほとりで、柁二は慟哭した。「こゑあげて哭けば」と「霜夜風音」が一首の中に響き、激しい心情を表している。それに対して「河音の全く絶えたる」は無音で、この世の雑事から気持ち離れたことを暗示しているようだ。柁二は戦地という異常な場にあつて、師の逝去をかくまで純粹に悲しんだ。

(田宮 朋子)